



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務統轄部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	5,276	3.8	416	20.8	448	10.4	273	43.5
2018年9月期第2四半期	5,082	3.2	344	△21.7	406	△13.9	190	△37.9

(注)包括利益 2019年9月期第2四半期 235百万円 (26.7%) 2018年9月期第2四半期 186百万円 (△41.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	57.77	—
2018年9月期第2四半期	40.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	7,980	5,277	66.1
2018年9月期	7,990	5,160	64.6

(参考)自己資本 2019年9月期第2四半期 5,277百万円 2018年9月期 5,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	1.3	820	0.2	910	0.6	500	△3.6	118.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	4,732,600 株	2018年9月期	4,732,600 株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	2,503 株	2018年9月期	2,503 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	4,730,097 株	2018年9月期2Q	4,730,125 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

第2四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当グループの当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気の回復基調が見られますが、各国の政治的要因による不確実な情勢や2019年10月に予定されている消費税率引き上げなどによる景気の下振れが懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移しております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争や人材確保等の要因を抱え、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,276百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は416百万円（前年同四半期比20.7%増）、経常利益は448百万円（前年同四半期比10.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は273百万円（前年同四半期比43.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,547百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は204百万円（前年同四半期比42.9%増）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、イベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組んだ結果、当部門の売上高は2,925百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っております。当部門の売上高は1,270百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけております。当部門の売上高は256百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は78百万円（前年同四半期比11.9%減）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

(マーキングサービス事業)

マーキングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。マーキングサービス事業の売上高は359百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比74.6%減）となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は290百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は20百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ10百万円減少し、7,980百万円となりました。

この主な要因は、警備未収入金が86百万円及び投資有価証券が63百万円減少したものの、現金及び預金が132百万円増加したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比べ127百万円減少し、2,702百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が84百万円、また、1年内返済予定の長期借入金が17百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ117百万円増加し、5,277百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が155百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は66.1%となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して132百万円増加し、3,680百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は414百万円（前年同四半期は390百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額191百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益448百万円、売上債権の減少107百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は50百万円（前年同四半期は92百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出34百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は230百万円（前年同四半期は224百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が102百万円、配当金の支払額が118百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月13日の「平成30年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,547,533	3,680,485
受取手形及び売掛金	250,158	228,371
警備未収入金	1,102,411	1,016,375
仕掛品	726	—
原材料及び貯蔵品	35,632	49,161
その他	102,969	136,214
貸倒引当金	△3,162	△3,191
流動資産合計	5,036,268	5,107,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	345,296	339,905
土地	1,300,331	1,321,508
その他	164,454	151,629
有形固定資産合計	1,810,081	1,813,042
無形固定資産		
のれん	395,262	337,507
その他	27,411	25,661
無形固定資産合計	422,673	363,168
投資その他の資産		
投資有価証券	390,943	327,693
投資建物（純額）	4,698	4,393
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,687	3,687
繰延税金資産	93,762	117,338
その他	166,003	181,201
貸倒引当金	△10,976	△10,874
投資その他の資産合計	720,204	695,524
固定資産合計	2,952,960	2,871,735
繰延資産		
開業費	1,610	1,449
繰延資産合計	1,610	1,449
資産合計	7,990,839	7,980,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	149,460	131,712
未払法人税等	196,450	187,385
未払消費税等	178,116	170,272
未払費用	662,071	644,699
賞与引当金	83,130	91,270
その他	293,714	299,338
流動負債合計	2,062,943	2,024,677
固定負債		
長期借入金	473,982	389,576
退職給付に係る負債	260,152	262,143
繰延税金負債	2,661	472
その他	30,844	25,751
固定負債合計	767,640	677,942
負債合計	2,830,584	2,702,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	3,530,786	3,685,793
自己株式	△773	△773
株主資本合計	5,079,492	5,234,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,736	60,642
退職給付に係る調整累計額	△21,974	△17,161
その他の包括利益累計額合計	80,761	43,481
純資産合計	5,160,254	5,277,981
負債純資産合計	7,990,839	7,980,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	5,082,063	5,276,774
売上原価	3,466,947	3,506,533
売上総利益	1,615,115	1,770,240
販売費及び一般管理費	1,270,337	1,353,756
営業利益	344,778	416,484
営業外収益		
助成金収入	17,486	12,417
受取賃貸料	15,073	13,553
投資有価証券運用益	28,854	27
その他	10,031	11,005
営業外収益合計	71,445	37,005
営業外費用		
支払利息	4,697	3,936
その他	5,334	1,069
営業外費用合計	10,031	5,005
経常利益	406,192	448,484
特別利益		
投資有価証券売却益	—	106
固定資産売却益	19	38
特別利益合計	19	145
税金等調整前四半期純利益	406,212	448,629
法人税、住民税及び事業税	211,682	181,973
法人税等調整額	4,082	△6,603
法人税等合計	215,764	175,370
四半期純利益	190,447	273,259
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,447	273,259

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	190,447	273,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,865	△42,093
退職給付に係る調整額	4,722	4,813
その他の包括利益合計	△4,143	△37,280
四半期包括利益	186,304	235,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,304	235,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	406,212	448,629
減価償却費	41,017	38,422
繰延資産償却額	—	161
のれん償却額	56,894	57,754
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△37	△73
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,630	8,140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,273	8,923
受取利息及び受取配当金	△2,528	△2,891
支払利息	4,697	3,936
投資有価証券運用損益(△は益)	△28,854	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△106
有形固定資産売却損益(△は益)	△19	△38
売上債権の増減額(△は増加)	76,787	107,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,477	△14,254
前払費用の増減額(△は増加)	39,975	13,376
未収入金の増減額(△は増加)	6,169	△8,257
未払金の増減額(△は減少)	△3,942	6,351
未払費用の増減額(△は減少)	△57,368	△58,608
預り金の増減額(△は減少)	792	△3,426
その他	40,510	306
小計	597,687	606,168
利息及び配当金の受取額	2,769	3,085
利息の支払額	△4,772	△4,076
法人税等の支払額	△205,301	△191,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,383	414,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,657	△1,675
投資有価証券の売却による収入	—	1,658
投資有価証券の払戻しによる収入	19,556	—
有形固定資産の取得による支出	△19,240	△34,909
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△72,063	—
短期貸付けによる支出	△820	—
敷金の差入による支出	△2,641	△1,137
その他	△15,797	△14,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,663	△50,770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△4,000	—
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△348,441	△102,154
配当金の支払額	△117,948	△118,124
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,443	△10,135
その他	△61	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,895	△230,415
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,824	132,952
現金及び現金同等物の期首残高	3,282,033	3,547,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,354,857	3,680,485

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,384,568	88,819	342,457	266,218	5,082,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,893	7,292	-	758	78,944
計	4,455,462	96,111	342,457	266,977	5,161,008
セグメント利益又は損失(△)	142,954	1,726	7,121	△20,514	131,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	131,287
セグメント間取引消去	213,490
四半期連結損益計算書の営業利益	344,778

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において株式会社アーバン警備保障の全株式を取得し、新たに連結子会社としたことにより「警備事業」セグメントにおいて、のれんが98,929千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,547,940	78,204	359,799	290,830	5,276,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,646	6,163	-	608	78,418
計	4,619,587	84,368	359,799	291,438	5,355,192
セグメント利益又は損失(△)	204,391	△2,071	1,802	△8,711	195,410

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	195,410
セグメント間取引消去	221,074
四半期連結損益計算書の営業利益	416,484

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。